



第 26 号

発行日 令和元年 12 月 10 日

発行 関屋小学校区コミュニティ協議会

編集 同広報部会

協力 新潟市立関屋中学校

同校地域教育コーディネーター

新潟市関屋地区公民館

せきやの灯

ここに—このん



NAMARA 金子ボボ ショー

秋晴れの9月14日(土)、関屋小学校区の「敬老祝い会」を開催、多年にわたり社会につくしてこられた方々を敬愛し長寿を祝い「感謝」いたしました。

会場の関屋小学校体育館に207人のご参加をいただき、主催の関小コミ協会長・樋口悦雄から、今日の「敬老祝い会」をきっかけに、子どもたちや高齢者を含

これからも若々しく 健やかな日々と笑顔を



めて地域全体で地域の安全・安心のためにより一層みんなで協力・助け合う心が育むことを願っている旨の開会あいさつ、来賓の関屋小学校長・遠藤昇さんの「便利な生活に慣れた現代人に必要なものは、感謝する心や謙虚さ、忍耐力である。」という佐藤愛子さんの著書を紹介しながら、学校教育でも大切にしたいという、心のこもったあいさつ、さらに関屋ふれあいランド児童代表・長谷川尚央さんから、「日ごろの安心・安全のための見守り」へのお礼のことが述べられました。

つづいて地域包括支援センター関屋・白新や中央地域保健福祉センターの「介護や健康についてのお話」の他、会場に「健康相談」や「福祉機器」コーナーを設けての対応もありました。

イベントは、新潟お笑い集団 NAMARA 金子ボボショーをお届けしました。

バルーンアート、きらきらネーム(漢字当て)、脳トレなど

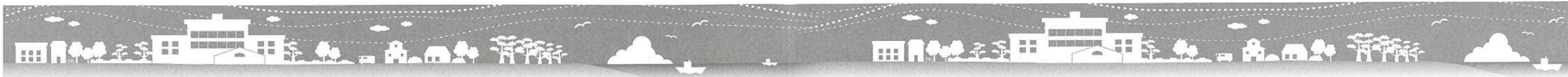
多才な芸の披露を楽しみました。そして、関屋ふれあいランドの児童は、校長先生のギターの伴奏で、「さんぽ」「三六五日の紙飛行機」、「パプリカ」さらに「関屋小学校校歌」を明るく元気よく合唱、その歌声が会場いっぱいにごだまし、歌を通して、ふれあい、パワーを届けました。

歌い終えた子どもたちは、胸に造花のバラをつけた七十五歳以上の方々一人ひとりに「祝い鶴」の折り紙と「メッセージカード」を手渡して、貴重なふれあいタイムでした。

最後に、この催しがこれからも皆様の若々しく健やかな日々と笑顔とご多幸を願い、また、来年も、お会いできることを楽しみにしますことを誓う、関屋地区社協会長・本間之子の閉会のあいさつをもって、おひらきとなりました。

関屋地区社会福祉協議会

副会長 河原三喜男



防災訓練を終えて



2019年度 学校町通3番町、関屋田町1丁目・2丁目4区 8自治会合同防災訓練報告

学校町通3番町防災会長 高橋榮明



心臓マッサージ訓練 (2019年度 学校町通3 関屋田町合同防災訓練)

近年は「何十年に一度の自然災害」の言葉を聞かない時は無いくらい頻繁に災害が起こっています。災害も地震・台風・集中豪雨・大雪・火災と多種に渡り、被害も甚大で拡大傾向にあります。

災害時の対応は「自助」「共助」「公助」があります。

災害時の対応としてまず、「自分の身は自分で守る」の「自助」、そして公的自治体から支援等の「公助」があり、その間に地域の住民が協力して対処する、「みんなの地域はみんなで守る」の「共助」とがあります。その基軸となるのが自主防災組織ではないでしょうか。

災害はいつ発生するかわかりません。災害の規模によっては公共防災機関による支援、救出、救護が期待できないことがあります。このような事態が発生したときには、「共助」による防災活動を展開し、お互いの命や財産を守らなければなりません。

地域の災害時要援護者となる高齢者、身体に障がいのある方への介助、救助の手を差し伸べ

自主防災会の組成について

関屋小学校区コミュニティ協議会
会長 樋口悦雄 (防災士)

2019年度学校町通3番町一区～六区・関屋田町一丁目、二丁目四区、8自治会の総合防災訓練が9月8日(日)、関屋小学校において実施された。3年間で順次に実施される内容は今年、AED訓練であり、その概要を述べる。

一般参加者は学校町通3番町一区～三区65名、四区～六区53名、関屋田町一～二丁目68名、計186名であった。指導者は市消防団中央方面隊鏡淵分団・斎藤元宏分団長と隊員12名であった。

被害想定は9月8日8時45分佐渡沖に地震発生、新潟市内では震度6を記録した。「各戸訓練」では各人が身体と周辺の安全を確保。「避難誘導訓練」では各自治会で予め決められた一次避難場所へ移動。9時にその場所に集合。9時15分に各自治会のぼり旗を先頭に関屋小学校体育館に到着。「情報収集訓練」では9時20分に体育館ステージ前に集合。各自治会班長は班の

2019年度学校町通3番町一区～六区・関屋田町一丁目、二丁目四区、8自治会の総合防災訓練が9月8日(日)、関屋小学校において実施された。3年間で順次に実施される内容は今年、AED訓練であり、その概要を述べる。

一般参加者は学校町通3番町一区～三区65名、四区～六区53名、関屋田町一～二丁目68名、計186名であった。指導者は市消防団中央方面隊鏡淵分団・斎藤元宏分団長と隊員12名であった。

被害想定は9月8日8時45分佐渡沖に地震発生、新潟市内では震度6を記録した。「各戸訓練」では各人が身体と周辺の安全を確保。「避難誘導訓練」では各自治会で予め決められた一次避難場所へ移動。9時にその場所に集合。9時15分に各自治会のぼり旗を先頭に関屋小学校体育館に到着。「情報収集訓練」では9時20分に体育館ステージ前に集合。各自治会班長は班の

避難者数を確認、各区でまとめ、防災会長に報告。

9時25分開会式・高橋榮明防災会長により開会宣言、挨拶があった。会長から心肺停止の実事例に基づく本日実施する心臓マッサージ、AED使用による蘇生術の重要性が述べられた。柳喜重郎会長代行から訓練の実施要領の説明があった。

9時40分訓練開始。上記の町内別3班に分け、各班の半分は心肺蘇生術、他の半分は応急手当・応急担架作成の訓練を予め準備して敷いたブルーシート上にて開始した。心肺蘇生術は各班用に訓練用人体模型およびAEDが準備され、訓練を開始した。心肺停止者に遭遇したら、その確認、協力する仲間を呼ぶ、心臓マッサージ開始、119番連絡、AEDの使用を分担して行うことを消防団隊員の手際よく指導の下で開始された。他の半分は応急手当・応急担架作成と運搬訓練を行った。約10分の休憩の後、10時35分から各班

では実施内容を入れ替えてそれぞれ実施した。11時15分に終了。その後、区ごとに整列。会長から脳卒中(その8割が脳梗塞)の初期症状の判断について講話があった。Face(顔)が対称でなくなる、Arm(腕)片方が挙がらない、Speech(言葉)話が普通にできない、Time(時間)有効な血栓融解の治療をするために、発作から治療開始まで、4時間半の時間制限があるとの説明があり、隣にいる人とその動作、対応を確かめあった。FAST(ファスト)と短く呼ぶが、訓練参加の誰でも対象になる可能性があり、本人、同居配偶者、子どもたちが共有すべき重要な知識であることが強調された。

次に斎藤分団長の講評があり、最後に関屋田町一丁目吉野国夫会長から閉会の挨拶があった。11時30分に訓練は終了、解散となった。



応急担架作成訓練 (2019年度 学校町通3 関屋田町合同防災訓練)



学校町通3 関屋田町の各防災会ののぼり旗と心臓マッサージ訓練

- 自主防災会組織の活動には「平常時の活動」と「災害時の活動」があります。(一例として)《平常時の活動》
1. 地域住民への防災意識の普及活動
 2. 防災巡視・防災点検
 3. 防災用資機材の整備
 4. 防災訓練の実施と検証
 5. 地域コミュニケーションの確保等
- 《災害時の活動》
1. 情報収集・伝達活動(連絡及び通報)
 2. 救出・救助活動
 3. 初期消火活動
 4. 水防活動
 5. 医療救助活動
 6. 避難誘導
 7. 給食・給水活動等

関屋小学校区内自主防災会 組成状況

自主防災会	世帯数
学校町通3番町防災会	700世帯
関屋田町1丁目町内会防災部	168世帯
関屋田町2丁目4区自主防災会	120世帯
関屋ハイツ自主防災会	84世帯
関屋下川原町2丁目自主防災会	97世帯
計	1,169世帯
関屋小学校区	2,324世帯
カバー率	50.30%



+ インフルエンザの 季節がやってきます!!

中央地域保健
福祉センター

日本では毎年1千万人が感染するインフルエンザ。例年12～3月頃に流行します。高齢者がインフルエンザにかかると重症化しやすいだけでなく、肺炎球菌などの二次感染により肺炎を起こす恐れもあります。インフルエンザと風邪の違いや予防のポイントを確認し、インフルエンザに備えましょう。

インフルエンザと風邪の違い

特に高齢者・持病のある人(慢性呼吸器疾患、心疾患、糖尿病など)はインフルエンザの症状が重くなったり、持病が悪化する可能性があるため、日頃からの予防が大切です。(図1参照)

インフルエンザの予防

① 流行前のワクチン接種
・ インフルエンザを発病する可能性を低くし、重症化を予防します。特に高齢者は、ワクチンを接種することで、死亡の危険が約2割に、入院のリスクは約3～5割に減少する

図1 インフルエンザと風邪の違い

	インフルエンザ	風邪
症状	38℃以上の発熱	発熱
	局所症状(鼻水、のどの痛み、咳など) + 全身症状(頭痛、関節痛、筋肉痛など)	局所症状(鼻水、のどの痛み、咳など) 
	急激に発症	比較的ゆっくり発症
流行の時期	12～3月頃(1～2月がピーク)	年間を通じて(季節の変わり目や体力が低下している時)

- ・ ② 手洗い
・ 外出後や食事前などは流水や石けんでこまめに洗いましょう。アルコール消毒も効果的です。
 - ・ ③ 湿度を保つ
・ 乾燥によりどの防御機能が
- とされています。免疫ができるまで2週間程度かかるため、流行前の接種が望ましいです。

図2 マスクのつけ方・外し方



- ④ 十分な休養・栄養をとる
・ 抵抗力を高めるために日頃から心がけましょう。
- ⑤ 人混みを避ける
・ やむを得ず人混みへ外出する場合はマスクをつけましょう。(図2参照)

インフルエンザかな?と思ったら

感染力が強いインフルエンザは、十分な対策を行っていても感染してしまうことがあります。抗ウイルス薬は症状が出てから

新潟市では満65歳以上の高齢者へ予防接種費用の一部を助成しています。インフルエンザの流行期に間に合うようなるべく12月上旬までに受けましょう。

2日(48時間)以内に使うともっとも効果が上がるため、インフルエンザの症状が現れた場合は早めに受診をしましょう。高齢者は症状が軽めに出る場合があるため、注意が必要です。また、周囲の人とうつさないようにマスクの着用や咳エチケット、手洗いを心がけましょう。

新潟市中央区役所健康福祉課
中央地域保健福祉センター
〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町1丁目3番地11
☎ 025-266-5172
平日8:30～17:30(土・日・祝日休み)